

# 大ケヤキ

学校だより(第24号)  
平成28年10月7日発行  
高田中学校長 野内 昭

## 両沼新人大会終わる!!

今年も2種目で優勝!!

先週の水曜日(9/28日)、ソフトテニスでは金曜日(9/30日)に実施された両沼新人総合体育大会で、本校が出場した12種目のうち、今年度は2種目と卓球女子オープンダブルスでワンペアが優勝しました。昨年度が1種目でしたので、昨年度よりは1種目多くなりました。優勝した種目は

- サッカー部
- 女子剣道部
- 卓球女子オープンダブルス  
久家ひなのさん・塚田朱莉さん
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 男子ソフトテニス部
- 男子剣道部
- 女子剣道個人 長嶺琴未さん

でした。その他の種目でも健闘しましたが、今一歩おぼえず第2位だったのが次の種目でした。

第3位だったのが、以下の種目です。

- 男子バレーボール部
  - 女子バレーボール部
  - 女子ソフトテニス部
  - 男子卓球部
  - 卓球男子オープンダブルス  
長嶺一輝君・星大貴君
  - 男子ソフトテニス個人  
長谷川智也君・福田 叶君  
星 駿和君・猪俣寛晃君
  - 女子剣道個人 山口 遥さん
- 結果はこうなりましたが、今の時期は、そんなに力の差はないと思います。例えば、2位の男子バスケットボールは、優勝した坂下中にワンゴール(2点)差でしたし、3位の男女バレーボールは、ともに接戦でセットを取れなかったということでした。大切なのは、「勝つて驕らず、負けて腐らず」です。この意味は、「勝つても負けても平常心を忘れず、自分本位にならず、満足せず、さらなる上を向き続ける姿勢を持たなければならぬ」ということです。その意味では、これからの取組(努力)が大切になります。
- さて、全会津大会を控えている部の皆さんは、目標を設定し直して、新たな目標達成に向けてまた努力を継続してほしいと思います。努力は裏切りませんから!..

## 吹奏楽部(2年連続)

### 県大会出場!!

県大会でも素晴らしい演奏を!!

一昨日(5日)、「喜多方プラザ」で行われた第57回全会津小中学校音楽祭(第2部合奏)で、本校の吹奏楽部が、昨年度に引き続き、見事県大会の出場権を獲得しました。県大会へは、小・中学校とも3校が出場します。

私は、午後の中学校17校のすべての演奏を聴くために、午後1時半前に学校を出発しましたが、一番目の大熊中の演奏開始に2分くらい遅れてしまいました。2番目の一箕中からその後は、ホール内で聴くことができました。

本校の演奏は16番目(最後から2番目)で、演奏開始が午後5時03分でした。今年の曲名は、『海峡の護り』吹奏楽のため』で、過日の壮行演奏よりもさらに数段すばらしい演奏を披露し、見事3位抜けで県大会への出場を決めました。

私が聴いた中では、一箕中が断トツで、それ以外の2校も市内で、本校は4、5位かなと予想していましたが、3校の中に入ったということは本当にすばらしく、県大会でも自信を持って演奏してほしいなと思います。

なお、県大会は13日(木)にいわき市芸術文化交流館「アリオス」で開催されます。

## 学校保健会年間テーマ

### 『子どもとメディア』p5

#### 4 安全な音楽鑑賞のために

このために、次の4つのことを述べています。

- (1) ポリウムを下げて、長時間は使わない。
- (2) イヤホンにも注意を!
- (3) 騒音下では、さらに注意を!
- (4) 耳鳴りは聴覚障害の前兆  
耳鳴りを自覚したら、しばらく耳を休めるようにする。

#### 5 聴覚の重要性と難聴予防

このことについて、次のように述べています。

近視では眼鏡やコンタクトで日常生活の支障はかなり軽減できるが、難聴の場合に使用する補聴器は眼鏡とはやや異なる。子どもたちに、一度聴力が悪化したら治療法はなくコミュニケーションに大きな支障が生じることをよく理解させ、聴力の大切さと将来の難聴予防の重要性を啓蒙していく必要性がある。

直接聴力に影響があることではないが、イヤホンなどで音楽を聴くと周囲の音が聞こえにくくなり、車などの危険に気づきにくい。そのため、自転車運転中は音楽を聴かないなどの指導も重要である。